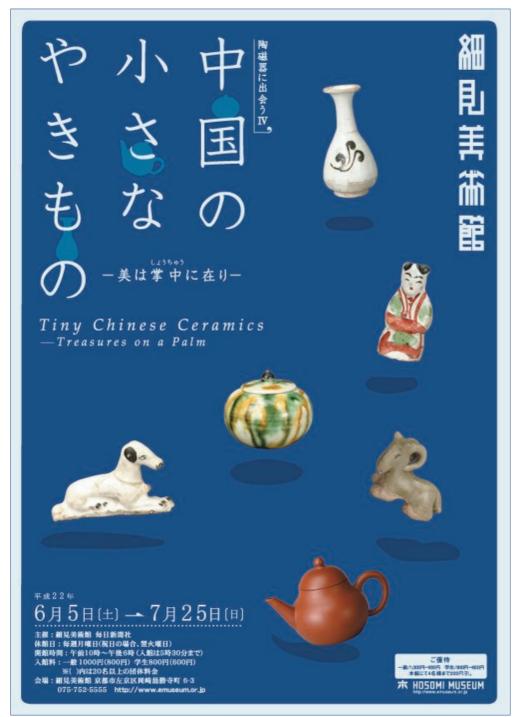
HOSOMI MUSEUM DIGITAL NEWS LETTER

トピックス情報
1)表紙
2)展覧会の「ここが見どころ①」
3)展覧会の「ここが見どころ②」
4)展覧会の「ここが見どころ③」
5)イベントレポート

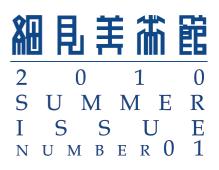
## <sup>陶磁器に出会うⅣ</sup> 中国の小さなやきもの -美は掌中に在り-



陶磁器に出会うシリーズも四 回目となった今回は「中国の小 さなやきもの」が登場します。壮 大な建造物や美術品のイメージ が強い中国ですが、一方では、本 展のサブタイトル「美は掌中に 在り」にもあるように、手のひら に載るような小さなものへの賞 賛や慈しむ気持ちが込められた 作品も多く作られてきました。

本展では、新石器時代から清 時代末期までの約6000年の 間に、中国の様々な地域で作ら れた副葬品や子供の玩具など、 愛らしく魅力的なやきものをご 紹介します。この機会に、小さく ても実用品と同じ、若しくはそ れ以上に丁寧に作られた小さな やきものを通して、死後の世界 を信じていた古代中国の人々の 思いや精密な美の世界を生み出 した陶工の息吹を感じていただ ければと思います。

◀ 中国の小さなやきものチラシ表面



ふくよかでありながら、 キリリと引き締まった姿

高さ、胴径ともに5cmに満たない二つの小壷。こんなサイズなのに、 轆轤で成形されています。ふくよかでありながら、キリリと引き締まっ た姿。見つめていると、優美な貴族文化の香が漂って来る気がしま せんか。所蔵者によると、三彩は2001年夏、白磁はそのほぼ1ヶ月 後に、東京・京橋などの骨董店で購入したそうです。



(左)白磁有蓋壺 唐 7-8世紀 (右)三彩有蓋壺 唐 7-8世紀

唐代の王族や有力貴族らは死後の世界での暮らしに備え、従者や 馬、駱駝などの動物や様々な生活用品を陶磁器で作り、墓に副葬し ました。この壷もそうした明器の一つ。白磁の胴部裏側に緑の染み がかすかに残っています。一緒に埋めてあった青銅製品の錆が付着 した跡でしょうか。

0

2

宋赤絵の登場

中国の友人によると、北方、内モンゴル自治区などのお墓から しばしば出土するというミニチュア人形。夫婦と子供、といった具合に、 なぜか家族そろった姿が多いのが不思議です。幼な子が亡くなり、 あの世で淋しい思いをしないようにと、両親が心を込めて埋めたのか も知れません。遊牧地帯に相応しく、彩り鮮やかな馬の人形が添え られていることも。



赤絵人形 金~元 13世紀

0

日本ではこうした色絵を宋赤絵と呼んでいます。中国で初めて赤や 緑、黄などのカラフルな絵の具で文様を描いたやきもの。正確に言え ば、北宋に代わって北部一帯を支配した金の時代に始まり、元、明 代に流行しました。法政大学総長で哲学者の谷川徹三(1895-1989) や歌人會津八一(1881-1969)のコレクションに良く似た品があったの を覚えています。

HOSOMIMUSEUM

コレクターに 間きました!

## 文房具? おもちゃ? —

タイヤキ風の魚は恐らく玩具。リング状の取っ手が付いているので、 あるいは書物や紙などを押さえる重し用の鎮かも知れません。 中国語の魚は余と同じ発音で、余裕に通じる縁起の良いデザイン。 文房具にはピッタリと言えるでしょう。この品が作られた晩唐の湖南 省長沙窯は輸出全盛期で、主力製品だった水注が中東でも発掘さ れています。



青磁褐彩魚 唐 9世紀



青磁羊 五代~北宋 10~11世紀

可愛らしい山羊はそれから100年余り後の作。産地は不詳。子供の おもちゃと見る人が大半ですが、確かな事は分かりません。鳥や動物、 人間などを象ったこの手の青磁や黒釉の小品は数多く、丹念に探せ ば、ポケットマネーでまだまだ十分面白い品が手に入る収集分野です。 長沙窯も同じですから、あなたも挑戦してみませんか。

HOSOMI MUSEUM

コレクターに 間きました!

0

4

## DIGITAL NEWS LETTER

## NEWS ARTCUBE SHOP おすすめアイテム やきもの

日本国内にはたくさんの"やきもの"の産地 がありますが、当店ではその中でも伝統と 技術、デザイン性を兼ね備えた、アイテムを 中心にセレクトしています。

プレゼント用にはもちろん、日常使い用と してもオススメです。

ぜひお気に入りの一点を探してみてください。





神坂雪佳「狗児」の絵を基に作られた このシリーズはお部屋のインテリアにも。 見ているだけでホッとする、 愛らしさがあります。

荻野克彦 Duetto マグ ¥1,680 プレートM ¥945

釉薬のかかり方によってそれぞれ 異なる味わいが愉しめます。 独特の色目がコーヒーにもピッタリ。





小松誠 マグカップ ¥1,260 プレートS ¥1,260

丸みを帯びたフォルムがなんとも印象的。 館内のカフェ・キューブでも使用されて いるセットです。 藤井憲之 青白磁急須 ¥3,780 青白磁湯呑 ¥1,155

これからの暑い季節にもオススメ! 澄んだ色目が目にも涼やかなセットです。

ARTCUBE SHOPお問合せ先 TEL075-761-5700



北日本新聞 2010年5月5日、9日、15日より

HOSOMI MUSEUM